茨城工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	人間と世界Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	0116	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位II: 2
開設学科	国際創造工学科　機械・制御系(制御コース)	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1
教科書/教材	適宜プリントを配布する。		
担当教員	田村 歩		

到達目標

著名な哲学者たちが提示してきた諸見解に実際に触れることで、哲学史上の基本的な事項を抑えると同時に、ものごとを多角的に検討する能力を涵養する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	哲学史上の様々な論点について正しく理解し、自分なりの見解をもつことができる。	哲学史上の様々な論点について正しく理解し、説明することができる。	哲学史上の様々な論点について正しく理解することができない。
評価項目２	一つの事がらについて、自力で、複数の観点から検討することができる。	一つの事がらについて、自らの見解と他者の見解を比較・検討することができる。	一つの事がらについて、固定された見解しかもちえない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (B)

教育方法等

概要	長い哲学史において議論されてきた様々な問題を検討することで、ものごとを多角的に検討する能力を涵養する。具体的には、古代ギリシャから近現代に至る西洋哲学を素材とし、哲学者たちの緻密で重層的な議論を辿っていく。
授業の進め方・方法	本授業は、基本的には講義形式で行われる。受講の際には、言及される事がらについての一問一答的な暗記に終始するのではなく、一つの哲学的な見解が提示されるに至るまでの過程を重視してもらいたい。
注意点	※各試験は全問論述形式とする（４～５つの大問をA３サイズ裏表の答案用紙に論述してもらう）。 ※※本科目は、主に哲学のうちの実践的な分野（倫理学）を扱い、同系選択科目の「人間と世界Ⅰ」は、主に哲学のうちの理論的な分野（形而上学）を扱う。「人間と世界Ⅰ」を履修済である学生の履修も可能である。ただし、理論的（基礎的）なものであれ実践的（応用的）なものであれ一つの「哲学」には違いないのだから、ⅠとⅢとで部分的な重複が避けられないことを承知しておいてください。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンスと導入	本授業の運営に関する諸事について通知する。
		2週	哲学とは何か	古代ギリシア哲学について講じ、哲学と学問との関係性について講じる。
		3週	ホメロスと倫理学の誕生 ソクラテス：無知の知・問答法	ホメロスの英雄叙事詩をもとに倫理学の誕生について講じる。 古代ギリシアの哲学者ソクラテスによる倫理思想について講じる。
		4週	プラトン：死の練習・魂の三つの機能	ソクラテスの弟子プラトンによる倫理思想について講じる。
		5週	アリストテレス：徳・卓越・中庸	プラトンの弟子アリストテレスによる倫理思想について講じる。
		6週	快楽主義	エピクロスによる倫理思想について講じる。
		7週	（中間試験）	
		8週	答案の返却と解説	
	2ndQ	9週	ストア派	ストア派の厳格な禁欲主義的思想について講じる。
		10週	キリスト教と経済	キリスト教の歴史を概観したうえで、その経済的思想について講じる。
		11週	近世の道徳論（１）：デカルトの暫定的道徳	近世哲学および自然科学の発展に絶大な影響を与えた哲学者デカルトによる道徳論について講じる。
		12週	近世の道徳論（２）：社会契約説	近世の哲学者ホッブズやロックを題材に、近世に誕生した新しい思想的潮流である社会契約説について講じる。
		13週	カント倫理学（１）：道徳法則・定言命法・仮言命法	近代の哲学者カントを題材に、左記の事がらについて講じる。
		14週	予備日	
		15週	（期末試験）	
		16週	答案の返却と解説	
後期	3rdQ	1週	実存主義（１）：キリスト教の奴隷道徳とニーチェの君主道徳（超人思想）	西洋の伝統であったキリスト教道徳に反旗を翻した哲学者ニーチェの倫理思想について講じる。
		2週	実存主義（２）：ハイデガー、サルトル	左記の哲学者たちの倫理思想について講じる。
		3週	功利主義：ベンサム、J・S・ミル、最大多数の最大幸福	効用や利益という観点から倫理道徳を論じる功利主義について講じる。
		4週	正義論	功利主義の欠点を暴き、公正としての正義を提唱したロールズの思想について講じる。

		5週	構造主義（１）：レヴィ＝ストロース	左記の哲学者を題材に、人間が自由と主体性をもつという従来の考え方に異議を唱えた「構造主義」について講じる。
		6週	構造主義（２）：フーコー	同上
		7週	（中間試験）	
		8週	答案の返却および解説	
	4thQ	9週	プラグマティズム	パースやジェイムズに代表される、真理を行為との関わりの中で捉えるプラグマティズムについて講じる。
		10週	生命倫理学	現代の医療技術の発展によって生じた様々な倫理的問題に対処するために誕生した新しい倫理学分野である生命倫理学について講じる。
		11週	メタ倫理学（１）	20世紀にアメリカで興隆したメタ倫理学について講じる。
		12週	メタ倫理学（２）	同上。
		13週	トロッコ問題	著名な思考実験である「トロッコ問題」を参考に、困難な倫理的問題について自力で思考する訓練をおこなう。
		14週	総括	
		15週	（期末試験）	
		16週	答案の返却と解説	

評価割合

	試験	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力（前期）	50	50
基礎的能力（後期）	50	50